

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

日本神経治療学会 標準的神経治療:三叉神経痛

日本神経治療学会治療指針作成委員会
神経治療、第 27 巻第 1 号、2010 年

■1 五苓散、柴胡桂枝湯、小柴胡湯、柴胡加竜骨牡蛎湯、桂枝加芍薬湯、芍薬甘草湯

疾患:

三叉神経痛

引用など:

堀口勇, 大竹哲也, 岡田貴楨, ほか. 三叉神経痛に対し漢方薬が有効であった症例の検討. *日本東洋医学雑誌* 2003; 54: 383-6. [J-stage](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

漢方薬による三叉神経痛治療の項に、下記の記載がある。

『三叉神経痛に対する治療薬として、症例数は少ないが漢方薬が有効であったとの報告が散見され、五苓散や柴胡桂枝湯、小柴胡湯、柴胡加竜骨牡蛎湯、桂枝加芍薬湯、芍薬甘草湯などが用いられている。』

■2 小柴胡湯、桂枝加芍薬湯

疾患:

三叉神経痛

引用など:

大野健次, 延原弘明, 有村聡美, ほか. 三叉神経痛に対する小柴胡湯・桂枝加芍薬湯併用療法の効果 (第 2 報). *日本ペインクリニック学会誌* 1996; 3: 92-6. [J-stage](#), [MOL](#), [MOL-Lib](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

漢方薬による三叉神経痛治療の項に、下記の記載がある。

『小柴胡湯、桂枝加芍薬湯の併用療法の有効性が報告されている。』

■3 五苓散、漢方薬

疾患:

三叉神経痛

有効性に関する記載ないしその要約:

漢方薬による三叉神経痛治療の項に、下記の記載がある。

『三叉神経痛に対して漢方薬を用いる場合、西洋医学的な抗けいれん作用を期待して投与する場合と漢方薬特有の随証治療の2種類があり、利尿薬として用いられる五苓散の有効例が多く、三叉神経痛の root entry zone における圧迫部位において生じている三叉神経の浮腫を軽減することによって鎮痛効果を発現する機序が考えられている。』

■4 漢方薬

疾患:

三叉神経痛

有効性に関する記載ないしその要約:

漢方薬による三叉神経痛治療のまとめの項に、下記の記載がある。

『抗けいれん薬のみでなく、baclofen や漢方薬などの使用も考慮する。』